

「めやす」に基づく文型リスト作成にあたっての問題点

中西千香(愛知県立大学)

0.はじめに

「外国語学習のめやす(以下「めやす」)」は、中国語学習(教育)の指針として作られたものである。「めやす」では、中国語の発話を15の話題分野にわけ、コミュニケーション行動を「〜できる」というCan-do statement(能力記述文、以下Can-do)で示している。このCan-doがあれば、学習者にとって、ゴールを感じながら学習でき、教授者にとっても、文法事項を理解することをゴールにするのではなく、文法事項を通してのCan-doにも注意を学習者に向けることができ、より合理的な教育に持っていける。しかし、この「めやす」があっても、教授者が如何に教材、副教材、授業の中へ援用していくかを考えなければ、その存在意義は薄れてしまう。

また、「めやす」には、Can-doにあわせた例文¹もついている。ただ、これも例文を提示しているだけで、例文のニュアンスの違いなども見えず、十分なものではなく、少し物足りない。発表者が関わる科研²では、Can-doにあわせた、より適切な文型リストを目下作成中である。本発表では、その文型リスト作成にあたり、何が問題となり、教学の際にどのような注意が必要かについて、議論したい。

1. 外国語学習の「めやす」とは？

1.1「めやす」の15の話題分野使用場面を、Can-doの指標は4レベルに分類³

- 1.自分と身近な人びと/2.学校生活/3.日常生活/4.食/5.衣とファッション
6.住まい/7.からだと健康/8.趣味と遊び/9.買い物/10.交通と旅行
11.人とのつきあい/12.行事/13.地域社会と世界/14.自然環境/15.ことば

1.2 3つのコミュニケーションモード⁴

従来の4技能でことばの使用場面を捉えるのではなく、

①対人(やりとり)モード ②解釈(理解)モード ③提示(表現)モード で捉えている。

対人モード	やりとりする	听 / 说 / 读 / 写
解釈モード	理解する	听 / 读
提示モード	伝える	说 / 写

¹ 「めやす」にそれぞれの分野に必要な語彙と文型が掲載されているが、can-doをさらに分解して、適切な例文リストを作成することが我々グループの目指すところである。

<http://www.tjf.or.jp/meyasu/support/resource/gakushu/054-01.html#cat054-5menu02>
² 「コミュニケーション文法の確立と中国語教育の基盤の再設計」(科学研究費(基盤研究(C)、研究代表者:山崎直樹(関西大学)、研究課題番号:25370669)

³ 15分野には分かれているが、個別に学ぶのではなく、教授者が作成する単位によっては、この中の複数の分野がからむ場合も想定できる。また、レベル1~4の基準については、<http://www.tjf.or.jp/meyasu/support/writer/tjf/post-64.php>を参照。

⁴ これらのモードを軸に4技能でさらにわかれていくのが「めやす」の考えるところである。<http://www.tjf.or.jp/meyasu/support/writer/tjf/post-65.php>参照。なお、この考えは、National Standards in Foreign Language Education Project (eds.): Standards for Foreign Language Learning in the 21st Century, National Standards Collaborative Project, 1999.(21世紀の外国語学習スタンダードズ、外国語学習ナショナル・スタンダードズプロジェクト)の考えに基づく。

2.「めやす」文型リスト～中西担当分について⁵

■1.自分と身近な人びと■

- 1-a.名前(姓名)や属性(高校生であること、学年、年齢、誕生日など)を言ったり、尋ねたりできる。
- 1-b.家族構成(何人家族で誰がいるか)について、会話したり、書いて説明したりできる。
- 1-c.簡単な自己紹介(干支、住んでいる所、好きなこと、趣味など)を、口頭でまたは書いてすることができる。
- 1-d.携帯番号やメールアドレスを、口頭で伝えあうことができる。

■4.食■

- 1-a.お店の看板(レストラン、食堂、ファストフードなど)を見て理解できる。
- 1-b.レストランなどで、従業員を呼ぶことができる。
- 1-c.必要なもの(メニュー、箸、皿、紙ナプキンなど)を、要求することができる。
- 1-d.食べたいものや飲みたいものを、メニューのなかから探すことができる。
- 1-e.メニューを指さして、数量や有無を確認しながら注文できる。
- 1-f.料理の味や状態についての簡単な感想(おいしい、甘い、辛い、薄い、熱いなど)を述べたり、受け答えをしたりできる。
- 1-g.残った料理を持ち帰りたいと頼むことができる。
- 1-h.お店で食事の会計をすることができる。
- 1-i.食べたい料理やおいしいと思った料理、行きたい店や気に入った店の名前などを、メモできる。
- 1-j.食事のときによく言う表現(おなかがすいた/いっぱいだ、召しあがれなど)を使って、口頭でやりとりができる。
- 1-k.自分の好きな食べ物、嫌いな食べ物、食べられないものなど、料理名や食品名を、口頭で伝えることができる。
- 1-l.朝食・昼食・夕食によく食べるものについて、言ったり尋ねたりできる。
- 1-m.自分が作ることができる料理や、作ってみたい料理の名前を口頭でまたは書いて伝えることができる。

■5.衣とファッション■

- 1-a.身につけているもの(服、かばん、靴、小物など)の名称や色・素材を、言うことができる。
- 1-b.服の好み(よく着る服、好きな色など)や髪型の好み(ロング、ショートなど)について、言ったり尋ねたりできる。
- 1-c.身につけているもの(服、かばん、靴、小物など)をほめる(よく似合う、きれいなど)ことができる。
- 1-d.ファッション雑誌を読むか、どのファッション雑誌を読んでいるか、言ったり尋ねたりできる。
- 1-e.知っている芸能人やスポーツ選手のファッションについて、感想(カッコいい、かわいい、ださいなど)を言うことができる。

■8.趣味と遊び■

- 1-a.休みの日(週末や長期休暇など)の過ごし方(よくすること)について、会話できる。
- 1-b.休みの日に友だちを(行楽地、カラオケ、コンサートなどに)口頭で誘うことができる。
- 1-c.どんなこと(スポーツ、映画、読書など)をするのが好きか、口頭で紹介しあうことができる。
- 1-d.好きな有名人の名前や職業などを、口頭でまたは書いて紹介しあうことができる。
- 1-e.好きなテレビドラマや映画・本・音楽などのタイトルを、リストアップできる。

⁵ 本来ならばそれぞれの分野にレベル1からレベル4まで Can-do 指標が存在する。しかし、今回取り扱ったものがレベル1に限られるので、紹介もレベル 1 のみにする。この他の指標については、<http://www.tjf.or.jp/meyasu/support/resource/communication/051-1.html> を参照。

3.文型リスト例

1-b.休みの日に友だちを(行楽地、カラオケ、コンサートなどに)口頭で誘うことができる。

タスク	コミュニケーションの3モード			文型	注意事項	文型リストを使用する際のメモ
	理解する	伝える	やりとりする			
1) いっしょに遊びに行こうと誘う。			我们一起去玩儿吧！一对不起，我有点事。/ 好啊！	我们一起去玩儿吧！一对不起，我有点事。/ 好啊！	誘った側が費用を負担することを期待される可能性がある。	定型表現
2) 特定の日にどこかへ行こうと誘う。			这个周末，我们一起去动物园吧。一对不起，我有点事。/ 好啊！	〈特定の日〉，我们一起去〈場所〉吧。(※返答省略)		「特定の日」は「週末、日曜、次の休み」など。
3) 特定の日に何かの遊びをしようとする。			这个周末，我们一起去唱卡拉OK吧。一对不起，我有点事。/ 好啊！ 星期六，一起去看足球赛怎么样？一对不起，我有点事。/ 好啊！ 星期天，我们一起去和平电影院看电影，好不好？一对不起，我有点事。/ 好啊！	〈特定の日〉，我们一起去余暇:~する)吧。(※返答省略)		〈余暇:~する〉は“去+動詞句”の形も含む。「動詞句」の部分は、余暇によくする活動を語彙リストにおいて別に提示する。

※語彙リストは別に作成する必要がある。

4.文型リスト作成の中で起きた、Can-do 指標の問題、例文提示、文型提示の問題⁶

4.1 Can-do 指標の問題

事例 1) 5.1-a.身につけているもの(服、かばん、靴、小物など)の名称や色・素材を言うことができる。

⇒身につけている、つけたいもの(服、かばん、靴、小物など)の名称や色・素材を言うことができる。

- 1) 衣服是红的。⇒我要的是红的。/有没有红的？/有没有其他颜色的？
- 2) 袜子是棉的。⇒我要棉的衬衫。

Can-do は、一つ一つの指標ではあるが、それぞれがある程度想定可能な場面を設定して、意味のある「○○ができる」でなければ、どこで使えばいいのか不明な Can-do になってしまう。

4.2 Can-do はクリアしているが使用する場面に制限がかかる事例

事例 2) 4.1-e.メニューを指さして、数量や有無を確認しながら注文できる。

- 3) 来一个这个。⇒来一份这个。

事例 3) 4.1-j.食事のときによく言う表現(おなかですいた/いっぱいだ、召しあがれなど)を使って、口頭でやりとりができる。

- 4) 我吃好了。(±formal)
- 5) 我吃饱了。(-formal?)
- 6) 我吃撑了。(-formal)

⁶ インフォマントは、主に北京在住 30 代女性 3 名、40 代女性 1 名、50 代女性 1 名にお願いした。

事例 4) 8.1-b.休みの日に友だちを(行楽地、カラオケ、コンサートなどに)口頭で誘うことができる。

- 7) 我们一起玩儿吧! (-formal、注意が必要)
- 8) 我们一起出去玩儿吧! (-formal)
- 9) 星期天我们一起和平电影院看电影, 行不行? (不満の説得)
- 10) 星期天我们一起和平电影院看电影, 好不好? (±formal)

事例 5) 8.1-c.どんなこと(スポーツ、映画、読書など)をするのが好きか、口頭で紹介しあうことができる。

- 11) 你喜欢做什么? (-formal)
- 12) 你的爱好是什么? (+formal)
- 13) 你有什么爱好? (+formal)
- 14) 你对什么有/感兴趣? (+formal)

4.3 文型の許容度のズレ、どこまでが言えてどこからが言えないのか

事例 6) 4.1-c.必要なもの(メニュー、箸、皿、紙ナプキンなど)を、要求することができる。

4.1-e.メニューを指さして、数量や有無を確認しながら注文できる。

“有～吗?”は、日本語の「○○ありますか?」に対応する比較的平易な文法事項にみえる。しかし、純粋に「○○ありますか?」に対応すると考えて、日本人的思考で当てはまる、あらゆるコンテクストには当てはめようとするとはうまいか。

“有～吗?”は当然あるものと想定されるものに対しては、使えない。使うときには少し気を使わなければならない。

- 15) 有餐巾纸吗?
- 16) △有菜单吗? /有筷子吗?
- 17) 有没有麻婆豆腐?
- 18) 有没有这个菜? ⇒这个菜有没有?

4.4 言えるには言えるが非母語話者が使うにしても注意して使いたいもの

事例 7) 4.1-b.レストランなどで、従業員を呼ぶことができる。

- 19) 哎(必ず第1声、4声では失礼), 服务员! ⇒你好! 服务员!
- 20) 哎, 服务生/小姐/小妹! ⇒いずれも失礼??? ⇒4.5にも関連する部分。

事例 8) 4.1-c.必要なもの(メニュー、箸、皿、紙ナプキンなど)を、要求することができる。

- 21) 菜单!(きつい)⇒给我菜单。/我看一下菜单。/拿一下菜单。/把菜单给我看一下。
- 22) 我要餐巾纸。(きつい、失礼)⇒麻烦您拿几张餐巾纸。/请拿几张餐巾纸。

事例 9) 4.1-j.食事のときによく言う表現(おながすいた/いっぱいだ、召しあがれなど)を使って、口頭でやりとりができる。

- 23) 你吃这个。(命令っぽい、最後の一個だったらOK)
⇒○咱们吃吧。(きっかけ)/○你尝尝这个吧。(一回目ならOK)/○再[来/吃]一点儿。/
△这个你能吃吗?

4.5 エリアで違う表現の差

事例 10) 4.1-f.料理の味や状態についての簡単な感想(おいしい、甘い、辛い、薄い、熱いなど)を述べたり、受け答えをしたりできる。

- 24) 太凉了。/?太冷了。 cf.「つめたいもの」⇒凉的/冷的

事例 11) 4.1-k.自分の好きな食べ物、嫌いな食べ物、食べられないものなど、料理名や食品名を、口頭で伝えることができる。

25) 我喜欢吃西红柿汤。⇒我喜欢喝西红柿汤。

4.6 書面語、レリアアを理解する能力を要する指標⇒中国語のみの個別に起こる問題。

4.1-a.お店の看板(レストラン、食堂、ファストフードなど)を、見て理解できる。

4.1-d.食べたいものや飲みたいものを、メニューのなかから探すことができる。

4.1-k.自分の好きな食べ物、嫌いな食べ物、食べられないものなど、料理名や食品名を、口頭で伝えることができる。

8.1-d.好きな有名人の名前や職業などを、口頭でまたは書いて紹介しあうことができる。

8.1-e.好きなテレビドラマや映画・本・音楽などのタイトルを、リストアップできる。

5.まとめ～「めやす」を基盤に、何を教え、何を伝えるか一例文提示、文型提示で考えるべき点

①-formal か+formal か？多少ぶっきらぼうでも外国人なら許されるとするのか？

-formal と+formal、プライオリティをどちらに置くか。-formal と+formal とともに使える、失礼にあたらぬ無難な表現が最もよい。これらが混在するのはあまりよくない。ただ、+formal に寄せると文法が少し複雑になる。段階的に教える必要がある。

実際のやりとりでは、必ず相手が存在する。背景のないものを教えるよりは、ターゲットがあるものがいい。ターゲットは友達か、先生か、友達の親か、ビジネスパートナーか。

②ビジネスシーンまで見越した場合の+formal 表現の導入の可否

例) 1.1-a.名前(姓名)や属性(高校生であること、学年、年齢、誕生日など)を言ったり、尋ねたりできる。

26) 您贵姓？⇒免贵姓王。

③日本語母語話者の母語による干渉を防ぐための注意喚起。

例) 4.1-f.料理の味や状態についての簡単な感想(おいしい、甘い、辛い、薄い、熱いなど)を述べたり、受け答えをしったりできる。

27) 味が濃い？太浓了。⇒太甜了/太咸了/太齁了。

例) 5.1-c.身につけているもの(服、かばん、靴、小物など)をほめる(よく似合う、きれいなど)ことができる。

28) ぴったりだよ。⇒你穿这个非常合适。/很适合您。/很合身。

③エリア差に対してどう対応すべきか。→「北方の言い方に則る」でいいのか。⇒4.5

④書面語、レリアアからアプローチから得ることしかできないものの導入の方法。⇒4.6

【参照文献】

国際文化フォーラム(2013).『外国語学習のめやす：高等学校の中国語と韓国語教育からの提言』.東京:ココ出版.

National Standards in Foreign Language Education Project(eds.) (1999) Standards for Foreign Language Learning in the 21st Century. Yonkers, N.Y. : National Standards in Foreign Language Education Project.